

S&P PACT 指数：2年間にわたりネット・ゼロへの取り組みに貢献



Kieran Trevor

アナリスト、ESG リサーチ&デザイン、ESG 指数
S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス

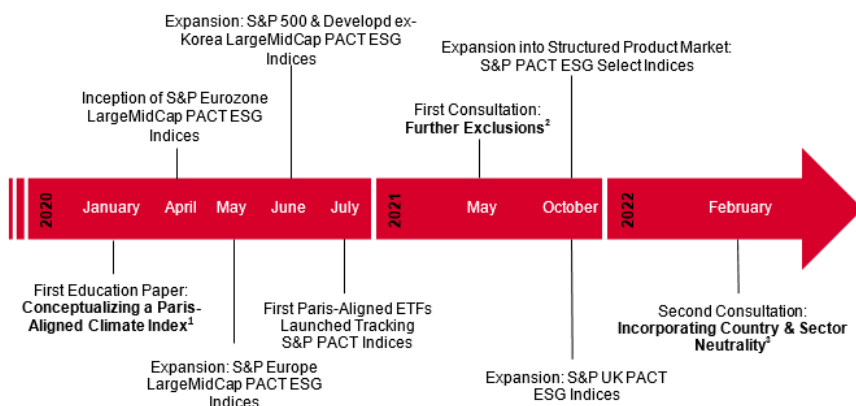
この資料は、2022年4月20日に弊社ブログ Indexology® に掲載された文書の翻訳版です。英語版と日本語版の間に内容の相違がある場合は英語版をご参照下さい。

英語版：<https://www.indexologyblog.com/2022/04/20/the-sp-pact-indices-leading-the-net-zero-charge-for-two-years/>

急速に変化する ESG の分野では、2年というの長い年月であると言えます。100年に一度のパンデミックが世界を襲う中で、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス (S&P DJI) は様々な ESG 指数の開発を進め、気候指数の分野において市場リーダーとしての地位を確立しました。当社が **S&P PACT™ 指数** (S&P パリ協定準拠及び気候変動指数) の算出を開始してから、2022年4月20日で2周年を迎えました。この指数は、パリ協定で定められた 1.5°C 目標や、欧州連合 (EU) の気候移行ベンチマーク (CTB) とパリ協定整合ベンチマーク (PAB) の最低基準、及び気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) の提言などに即した指数となっています。S&P PACT 指数は、S&P Global Trucost が提供する最新のカーボンリスク及び物理的リスクのデータを使用するとともに、指数の アプローチ において科学的根拠に基づく目標イニシアチブ (SBTi) を考慮することにより、EU の CTB 及び PAB の最低基準を十分に満たした指数となっています。

図表 1 は、この指数シリーズの算出が開始されて以降の経緯を示しています。当社は、新たな地域指数の算出を開始するとともに、指数構築に関して市場参加者と相談を行い、サステナブル投資環境の変化に対応してきました。

図表 1：各 S&P PACT 指数の 2020 年以降の経緯



Source: S&P Dow Jones Indices LLC. Data as of March 31, 2022. Chart is provided for illustrative purposes.

パフォーマンス指標

全ての S&P PACT 指数は、気候関連の目標を達成する一方で、セクターと産業の構成比率をベンチマークと同等に維持し、アクティブ・リスクを最小限に抑えるように設計されています。図表 2 に示されているように、これらの目標は達成されており、各 S&P PACT 指数のリスクとリターンは、それぞれのベンチマークと概ね近い水準で推移しています。

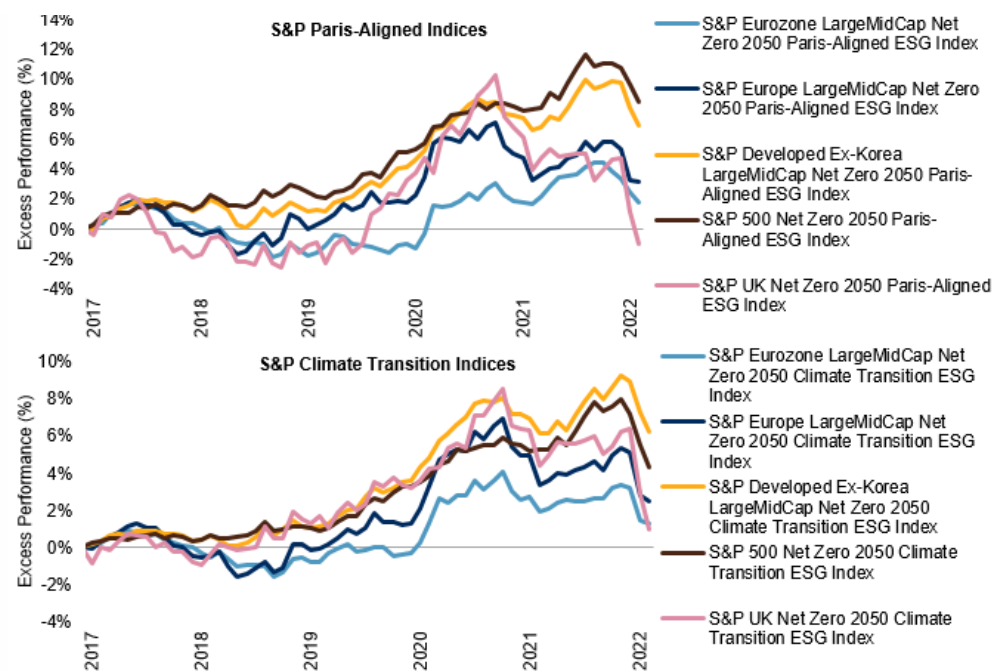
図表 2：各 S&P PACT 指数のパフォーマンスはそれぞれのベンチマークと概ね近い水準で推移している

	S&P Eurozone LargeMidCap	S&P Eurozone LargeMidCap Net Zero 2050 Paris-Aligned Index	S&P Eurozone LargeMidCap Net Zero 2050 Climate Transition Index	S&P Europe LargeMidCap	S&P Europe LargeMidCap Net Zero 2050 Paris-Aligned Index	S&P Europe LargeMidCap Net Zero 2050 Climate Transition Index	S&P 500	S&P 500 Net Zero 2050 Paris-Aligned Index	S&P 500 Net Zero 2050 Climate Transition Index	S&P Developed ex-Korea LargeMidCap	S&P Developed ex-Korea LargeMidCap Net Zero 2050 Paris-Aligned Index	S&P Developed ex-Korea LargeMidCap Net Zero 2050 Climate Transition Index	S&P United Kingdom BMI	S&P UK Net Zero 2050 Paris-Aligned Index	S&P UK Net Zero 2050 Climate Transition Index
Historical Return (%)*	8.04	8.51	8.57	8.78	9.44	9.42	15.94	17.41	16.86	13.24	14.47	14.55	6.36	6.24	6.79
Historical Excess Return (%)*	-	0.47	0.53	-	0.66	0.64	-	1.47	0.92	-	1.23	1.32	-	-0.13	0.43
Historical Risk (%)*	18.66	18.29	18.12	16.36	15.60	15.77	15.41	15.70	15.62	14.89	14.92	14.95	17.15	17.13	16.69
Historical Tracking Error (%)*	-	47.92	44.83	-	67.73	60.16	-	45.42	39.67	-	50.74	44.77	-	108.54	79.78
Historical Return/Risk*	0.43	0.47	0.47	0.54	0.61	0.60	1.03	1.11	1.08	0.89	0.97	0.97	0.37	0.36	0.41
Active Share (%)	-	22.82	15.13	-	19.11	12.99	-	25.54	17.55	-	20.06	15.33	-	20.72	22.18
Stock Count	247	148	191	472	311	373	505	279	370	1699	818	931	378	224	261

Source: S&P Dow Jones Indices LLC. Data as of February 2022. Past performance is no guarantee of future results. Table is provided for illustrative purposes and reflects hypothetical historical performance. The S&P Eurozone LargeMidCap Net Zero 2050 Paris-Aligned ESG Index was launched April 20, 2020. The S&P Europe LargeMidCap Net Zero 2050 Paris-Aligned ESG Index was May 04, 2020. The S&P Developed Ex-Korea LargeMidCap Net Zero 2050 Paris-Aligned Index was launched Feb. 7, 2022. The S&P 500 Net Zero 2050 Paris-Aligned ESG Index was launched June 1, 2020. The S&P UK Net Zero 2050 Paris-Aligned ESG Index was launched Oct. 25, 2021. *Data from December 2016 to February 2022.

実際に、ほとんどの S&P PACT 指数は算出開始以降、それぞれの時価総額加重ベンチマークをアウトパフォームしています。図表 3 に示されているように、S&P PACT 指数は、新型コロナウイルスの影響で市場全体が下落した局面でも底堅く推移しました。ただし、2022 年に入ってから、S&P PACT 指数はアンダーパフォームしています。S&P PACT 指数では、エネルギー銘柄をアンダーウェイト、または除外する傾向があるため、最近におけるエネルギー銘柄の上昇がアンダーパフォームの要因となりました（詳細については、弊社のレポート「[Exploring S&P PACT Indices Weight Attribution](#)」を参照ください）。

図表 3：各 S&P PACT 指数はそれぞれのベンチマークを概ねアウトパフォーマンスしている



Source: S&P Dow Jones Indices LLC. Data from December 2016 to February 2022. Past performance is no guarantee of future results. Chart is provided for illustrative purposes and reflects hypothetical historical performance. The S&P Eurozone LargeMidCap PACT ESG Index was launched April 20, 2020. The S&P Europe LargeMidCap PACT ESG Index was launched May 4, 2020. The S&P Developed Ex-Korea LargeMidCap PACT ESG Index and S&P 500 PACT ESG Index were launched June 1, 2020. The S&P UK PACT ESG Index was launched Oct. 25, 2021.

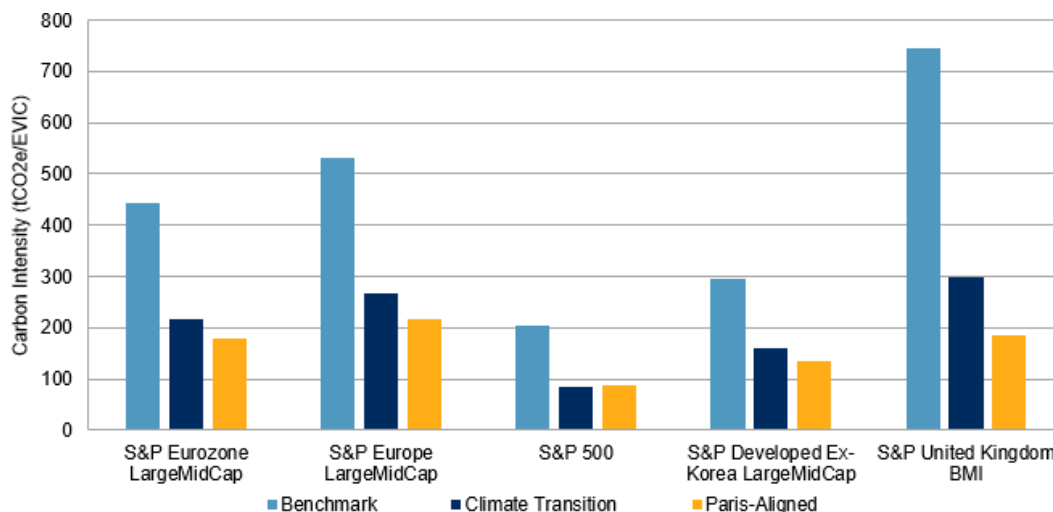
炭素強度の削減

EU の CTB 及び PAB の最低基準では、炭素強度を前年比 7%削減することを主な要件の 1つとしています。この要件は 1.5°C 目標に準拠する上で重要な要素であり、これは S&P PACT 指数メソドロジー にも反映されています。

S&P PACT 指数シリーズ内の各指数は、S&P Global Trucost の移行経路モデルを使用することにより、1.5°C 温室効果ガス排出量削減経路に準拠するように設計されています。S&P Global Trucost の移行経路モデルでは、フォワードルッキング及びバックワードルッキングな炭素データを活用し、S&P PACT 指数の各構成銘柄の温室効果ガス排出量を、1.5°C 目標に準拠した炭素予算と比較します。

S&P DJI では、高度なアプローチに従って S&P PACT 指数を構築しているため、それぞれのベンチマークと比べて炭素指標が大幅に改善されています。図表 4 に示されているように、S&P PACT 指数の炭素指標は、EU の CTB 及び PAB が設定した最低基準を十分に満たしています。

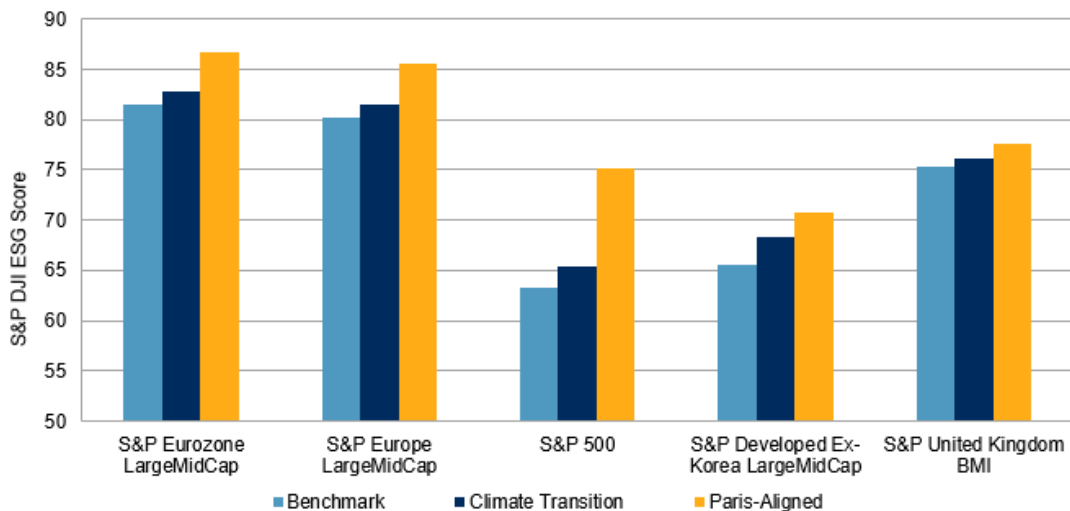
図表 4：各 S&P PACT 指数の炭素強度は、ベンチマークを大幅に下回っている



Source: S&P Dow Jones Indices LLC. Data as of December 2021. Chart is provided for illustrative purposes.

同様に、図表 5 に示されているように、各 S&P PACT 指数の全体的な ESG パフォーマンス（S&P DJI ESG スコア）は、それぞれの時価総額加重ベンチマークのスコアを上回っています。

図表 5：各 S&P PACT 指数の S&P DJI ESG スコアも改善した



Source: S&P Dow Jones Indices LLC. Data as of December 2021. Chart is provided for illustrative purposes.

最後に、S&P PACT 指数の算出が 2 年前に開始されて以降、世界の市場では不透明感の高い状況が続き、地政学的リスクも高まっています。こうした中でも、S&P PACT 指数はベンチマークとほぼ同等のパフォーマンスを維持する一方で、厳しい気候目標に合致するとともに、1.5°C 目標にも準拠しています。S&P PACT 指数は長期的なパフォーマンスに焦点を当てた指数ですが、短期的に見てもある程度良好な結果を示しています。

当社のネット・ゼロ指数ソリューションに関する詳細については、[こちら](#)を参照ください。

¹ S&P PACT 指数に関する最新レポートについては、[こちら](#)を参照ください。

² 最初の相談、メソドロジーの変更、追加の除外銘柄、及びそれによる指数への影響に関する詳細については、[こちら](#)を参照ください。

³ 2回目の相談、メソドロジーの変更、国やセクターの中立性、及びそれによる指数への影響に関する詳細については、[こちら](#)を参照ください

このブログの記事は意見であり、助言ではありません。[免責条項](#)をお読み下さい。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス免責事項

©S & Pグローバルの一部門である **S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC** 2022 年。不許複製。**Standard & Poor's, S&P**、は、S & Pグローバルの一部門であるスタンダード・アンド・プアーズ・ファイナンシャル・サービシズ LLC (以下「**S&P**」) の登録商標です。「**ダウ・ジョーンズ**」は、**ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングズ LLC** (以下「**ダウ・ジョーンズ**」) の登録商標です。商標は、**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC** にライセンス供与されています。本資料の全体または一部の再配布、複製、そして (または) 複写を書面による承諾なしに行うことを禁じます。本資料は、**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC**、**ダウ・ジョーンズ**、**S&P** 或いはそれぞれの関連会社 (これらを合わせて「**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス**」という) が必要なライセンスを持たない地域におけるサービスの提供を行うものではありません。**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC** が提供する全ての情報は、個人とは無関係であり、いかなる個人、事業体または集団のニーズに合わせて調整したものではありません。**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス**は、その指数を第三者にライセンス供与することに関連した報酬を受けています。指数の過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。

指数に直接投資することはできません。指数が表すアセット・クラスへのエクスポージャーは、指数に基づく投資可能商品を通して得られます。**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス**は、第三者が提供し、**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス**の指数のリターンに基づく投資リターンを提供することを旨とする投資ファンド、或いはその他のピークルを提供、推奨、販売、宣伝、或いは運用することはありません。**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス**は、指数に基づく投資商品が指数のパフォーマンスに正確に連動し、プラスの投資リターンを上げることについて保証しません。**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC** は投資顧問会社ではなく、**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス**は、そうした投資ファンド或いはその他の投資ピークルに投資する適否に関して表明することはありません。そうした投資ファンド或いはその他の投資ピークルへの投資決定は、本資料で言及されたいかなる部分も信頼して実行されるべきではありません。そうしたファンド或いはその他のピークルに投資しようとする投資家に対して、投資ファンド或いはその他のピークルの発行体またはその代理人が作成する目論見書または類似文書に記載されているように、そうしたファンドへの投資に伴うリスクを注意深く検討した上で投資することを助言します。指数への証券の組入は、**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス**によるその証券の買い、売り、または保有の推奨ではなく、また投資助言でもありません。**S&P**の米国のベンチマーク指数及び**ダウ・ジョーンズ**の米国のベンチマーク指数の終値は、**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス**が、指数構成銘柄の各主要取引所が設定する終値に基づいて計算します。終値は **S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス**がサードパーティ・ベンダーの 1 社から受け取り、別のベンダーから届く価格と比較することにより検証されます。各ベンダーは終値を主要取引所から受け取ります。日中の実時間価格は、2 次検証を経ずに同様に計算されます。

これらの資料は、信頼できると考えられる情報源から一般に公衆が入手できる情報に基づき、情報提供のみを目的として作成されたものです。本資料に記載されるいかなる内容 (指数データ、格付、クレジット関連の分析とデータ、モデル、ソフトウェア、或いはその他のアプリケーションまたはそれからの出力) も他のいかなる部分 (以下「内容」という) も、**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス**による事前の書面による承認なくして、いかなる形式といかなる手段によっても、改変、リバースエンジニアリング、再製作または配布、或いはデータベースまたは検索システムへの保存を行うことはできません。内容を、不法な或いは未認可の目的に使用してはいけません。**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス**及びいかなるサードパーティ・データ・プロバイダー及びライセンサー (合わせて「**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス**当事者」という) も、内容の正確性、完全性、適時性或いは利用可能性を保証しません。**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス**当事者は、いかなる過誤、遺漏についても、原因の如何を問わず、内容を用いて得られた結果について責任を負いません。内容は、「現状」ベースで提供されています。**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス**当事者は、特定の目的または利用に対する販売可能性または適合性についてのいかなる保証も、バグやソフトウェアのエラーまたは欠陥がないこと、内容の機能が中断されないこと、或いは内容が何らかのソフトウェアまたはハードウェア構成により動作することの保証も、以上を含みそれに限定されない、あらゆる明示的または暗示的保証も拒否します。**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス**当事者は、いかなる場合も、いかなる当事者に対しても、内容の使用に関連して発生する、いかなる直接的、間接的、偶発的、典型的、補償的、懲罰的、特殊な或いは結果的な損害、費用、経費、法的費用、或いは損失に対しても (逸失収入または逸失利益、及び機会費用を含みそれに限定されず)、たとえ損害の可能性について事前に通告を受けていようと、責任を負いません。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、各事業部の活動の独立性と客観性を維持するために、それぞれの活動を他から隔離しています。その結果、**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス**の一部の事業部は、他の事業部では入手できない情報を保有する可能性があります。**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス**は、各分析プロセスの中で受け取った非公開情報の機密を守る方針及び手順を確立しています。

さらに、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、広範なサービスを、証券の発行体、投資顧問会社、証券会社、投資銀行、その他の金融機関及び金融仲介業者など多くの組織に提供しています。したがって、これらの組織から報酬その他の経済的便益を受ける可能性があります。これらの組織には、証券やサービスを推奨し、格付け評価し、モデルポートフォリオに組入れ、評価するか別の対応を行う組織が含まれます。

最新のブログ 「**Indexology**」 (英語) をご覧になりたい方は、こちらのサイト
www.indexologyblog.com よりご登録いただけますと、更新の都度メッセージが届きます。